

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.10.15 No. 87 連絡先 FAX 042-555-1911



沖縄と連帯して市民交流集会

横田基地もいらない！

航空総隊司令部移転反対！

620人が参加、デモ行進で市民にアピール



10月9日、福生市民会館大ホールで開かれた「沖縄とともに声をあげよう 横田基地もいらない! 市民交流集会」は、あいにくの雨でしたが620人が集いました。



米軍横田基地に航空自衛隊府中基地から航空総隊司令部が2010年度中に移転してくることから、日米軍事一体化の総隊司令部移転反対を掲げています。

午前11時から「流血の記録 砂川」が上映されました。左の写真は上映前に、砂川の土地を守りぬいた感動の記録の解説をする島田清作さんです。



午後1時から田中秀二琉球民謡研究会の三線演奏と歌を楽しみました。

市民交流集会の開会あいさつで榎本信行さんは「危険な基地をそのままにしておくわけにはいかない。三多摩では在日米軍基地（米軍立川基地）を撤去させた歴史を持っている。その誇りを胸に横田基地撤去に向けがんばりたい。」と述べました。左の写真は、市民交流集会の実行委員会代表の榎本さんです。



記念講演では琉球新報の滝本匠記者（写真）が「沖縄からの直言」と題して「沖縄の米軍基地では復帰（1972年）以降だけで43件、1年に1機以上の墜落事故が起こっている」ことなど紹介。「もし新たな墜落事故が起これば、県民はもう容認しない。米軍基地はすべて出て行けとなると思う」と沖縄県民の怒りの広がりを語りました。また、米軍再編の狙いは日米の共同作戦をすすめること、共同訓練も日常的に行われ、日米の軍事融合・一体化は日本全国で着々と進んでいる。横田基地への航空総隊移転もその一環で「沖縄の問題ということだけでなく日本の問題」と語りました。（裏面にも関連記事）

朝霞駐屯地で行われる自衛隊観閲式が、すごいことになっている！

防衛省は、10月7日の防衛省記者会見で、10月24日に開催される自衛隊観閲式への米軍機に関する情報を明らかにしました。それによると、三沢基地のF-16が4機、横田（座間の間違いか）所属のUH-60が3機、最大合計7機の米軍機が観閲式の関連行事で飛行することが確定したそうです。予行飛行も、ルートも、時間帯も、なにもかも確定してないで、ただ飛ぶことだけが確定したようです。自衛隊の観閲飛行や訓練の詳細は東部方面隊HPにアップ中です。ご覧ください。 <http://www.mod.go.jp/gsdf/eae/ea/parades/parades.html>

ホームページを見ると、13日から予行飛行も行われ、新座市、練馬区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区、市川市、松戸市、流山市、野田市、さいたま市など飛行範囲は広大。ヘリコプター（44機）、固定翼機（8機）。24日（日）は、反対集会が開かれます。

横田基地もいらない！地域からの活動報告

九条の会・あきしま 堀美保子さんの報告

昭島市の公民館の講座で、横田基地がミサイル防衛の基地に変貌し、自衛隊と一体化することを学びショックを受けました。

砂川闘争や伊達判決も学びました。安保条約も学び、草の根の運動をすすめていきたい。

(写真は発言する堀さんと、集会の実行委員)



横田基地の撤去を求める西多摩の会 窪田一忠さんの報告 (右の写真)

昨年4月から毎月1回、撤去を求める座り込みを行い、18回、参加者は延べ1000人を越えました。横田基地は、知れば知るほどとんでもない、危険な基地になっています。危険な実態を知らせようと座り込みを続け、沖縄の闘いに行動で連帯してきました。基地なくすたたかいを発展させていきたい。



横田・基地被害をなくす会 福本道夫さんの報告 (右の写真)

昨年8月に米兵家族の少年4人が道にロープをはり、バイクで通りかかった女性に命にかかわるような重症を負わせた事件の裁判傍聴に取り組んでいます。1人のみ起訴で、3人は米軍に引き渡されています。起訴されるまで身柄の拘束もできないなど地位協定は大きな問題。これからも追及していきたい。



横田基地への航空自衛隊航空総隊司令部移転に反対する決議を確認しました

集会では「戦争を放棄し、武器を持たないと決めた日本に、日米軍事一体化した基地はいりません。沖縄の普天間基地の無条件撤去を求め、航空自衛隊航空総隊の横田基地移転に反対し横田基地の撤去を求める」との決議を確認しました。今後、関係機関などに申し入れを予定。



今後の取り組みに対する実行委員会からの提案 (写真：小柴さん)

①米軍司令部への自衛隊航空総隊司令部の合体を許さず、横田基地の危険性、環境破壊性、国家予算の巨大な浪費性などの様々な問題点を、私たちのまわりの人々に訴えかけて、横田基地撤去の世論を大きくしていきましょう。

②継続こそ最大の力です。この市民交流集会のような企画を、今後も少なくとも年1回は開くなど、横田基地撤去の運動の輪を、さらに強く大きく広げていきましょう。

③今後の運動の発展をめざす拡大実行委員会を10月31日開催します。参加を呼びかけます。提案のあとは、アコーデオン伴奏で「沖縄を返せ」を全員で歌い、デモへと移りました。

展示も人気、集会後は雨の中をデモ行進 横田基地はいらない！と元気にアピール

午前中の「横田基地巡り」も予想を超える参加者でした。天気の良い日、また来てください。

会場の大ホールに張り出した横田基地の大きな写真や、大きな模型も話題になりました。展示コーナーは別室でしたが、真っ黒に塗られた建築図面や「思いやり予算」関係の展示に「これ、なんだ！」という感想が。集会後の雨の中のデモ行進には500名が参加。傘をさしてもずぶ濡れで、家に帰って炬燵で暖まったと言う話も。地元としては感謝の気持ちでいっぱいです。

